H02 ダイバーシティ（Diversity & Inclusion）経営

経営学部・経営学科・教授　加藤　里美
katos@aitech.ac.jp

キーワード　ダイバーシティ、インクルージョン、多様性、女性活躍推進

概要

ダイバーシティ経営とは、属性の違いだけでなく、価値観や考え方、体験といった目に見えない違いを活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造に繋げていく経営である。そのためには経営トップがダイバーシティ経営の意思を明らかにし、企業文化（風土）を変革し、誰もが働きやすい諸施策を構築していくことが必要となる。

経済産業省が2012年から選定している「ダイバーシティ経営企業100選」の「成果」を計量テキスト分析すると、女性を活かし、組織変革に繋げ、企業文化や風土を変え、他の属性に対する組織変革を促進する土壌を作っていくことが重要であることが示唆される。

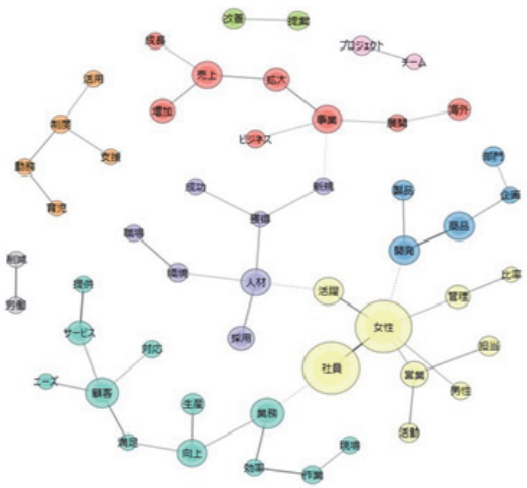

図　ダイバーシティ経営企業
100 選・268 社の成果（経済産業省）に
関するす共起ネットワーク

セールスポイント

1．調査研究は、質問紙調査による定量的分析、インタビュー調査を中心とした定性的分析、テキストマイニングを行っている。
2．ケース・スタディによる理論と実務の融合を図っている。
3．経営学におけるダイバーシティ（多様性）の重要性を理解している。

企業等での活用例、今後の展望等

1．女性活躍・登用促進に関する諸施策の導入と運用。
2．多様な人材をマネジメントする諸施策の導入と運用。

参考資料

加藤里美ら（2019）「愛知県におけるジェンダー・ダイバーシティに関する調査研究（1）－女性管理職と女性管理職候補にとっての課題と課題解決への考えー」『日本経営診断学会論集』18，97-103.